

令和3年度 事業報告

【事業報告】

令和3年度は、鳥取市にも新型コロナウイルス感染拡大の波が繰り返し押し寄せました。令和3年度通常総会は、2年続けて書面決議を実施しました。

全国各地で気候変動の影響により、自然災害が激甚化・頻発化した1年間でした。

鳥取市も、7月7日、大雨による浸水や土砂災害のおそれがあるとして、午前10時40分、城北地区ほか27地区4万3462世帯、あわせて10万3554人に対して「警戒レベル3：高齢者等避難」が発令され、城北小学校が避難場所となりました。

駆けつけた、城北地区防災会役員が初動の避難場所開設にあたりました。

その段階で、次の判断をしました。

① 駆けつけた防災会役員だけでも、初期段階の避難所開設準備は可能（密を避ける）

② 11時 時点での、部員出動要請は混乱を生じる（部員の多くは職場）

③ 到着した避難所運営担当者（市職員6人）と、防災会役員で避難所運営が可能

以上の判断のもと、「防災連絡網」を使つての、**部員の出動要請**はしませんでした。

しかし、今後に向けて、多くの課題が残りました。

避難者は、11時頃から避難しはじめ、11時30分時点で大人20名程度、12時30分時点からは保育園児が避難しはじめ、一時は70名程度になりました。

避難情報が出た段階で、鳥取市・小学校・保育園等、どの時点で「だれが」・「何を持ち寄り」・「何を準備するのか」。それぞれの機関がどのような体制で、どのような動きを想定しているのか、共通理解を図っておく必要性を感じました。災害対応には“正解”はありませんが、“ベスト”を尽くしておく必要性を強く感じました。

事業の危機管理にも迫られました。7月5日に自主防災会会長会を開催し、避難訓練について協議し、8月2日には、開催チラシを全戸配布しました。

ところが、8月3日、鳥取県全域に「特措法第24条第9項による協力要請」（不要不急の外出・県境をまたぐ移動を控える等）が発令され、城北地区と隣接する商栄町「ライブハウス Stayvia」ではクラスターが発生し、陽性者45名、二次感染等は13名にのぼりました。

これを受けて、急遽8月4日、「非接触型での避難訓練（情報伝達）」と、危機管理課の協力のもとで、懸案だった「防災無線聞き取り訓練」に内容を変更しました。

今後も、災害による被害の防止および軽減を図ることを目的とした不断の取り組みの重要性を感じた1年間でした。

城北地区防災対策協議会 会長 鈴木 伝男

○8月22日【日】

*「一時集合場所集合訓練」を急遽内容変更

◎『非接触型の情報伝達訓練・避難行動要支援者 声かけ行動訓練の実施』

◎『防災行政無線の聞きとり確認』の実施

【変更要因】

鳥取市で、感染力の強いデルタ株(インド由来の変異株)による、新型コロナウイルス感染の連鎖が急拡大し8月3日から8月16日までの期間、鳥取県全域に「特措法第24条第9項による協力要請」が発令されたことを受け、「集合を伴う訓練」の実施は、『危険』と判断し**非接触型の訓練内容へと変更**。

【想定：コロナ禍での水害】

7時30分「とっとり地域ぼうさいメール」を通じて「警戒レベル3」発令。気象庁より「氾濫警戒情報」。防災無線のアナウンスの内容も、「警戒レベル3」。城北小学校2階(多目的室)・城北体育館を指定緊急避難場所として指定。あわせて、分散避難の呼びかけ。

<p>自助</p> <p>7:30</p>	<p>「打ち上げ花火」と「防災行政無線で避難を呼びかけます」</p> <p>■窓を閉め切った室内で、防災行政無線の内容が聞きとれたか確認する。</p> <p>●聞こえなかった ●内容は聞きとれないけれど音は聞こえた ●内容を聞きとれた</p>
<p>共助</p> <p>7:40</p>	<p>■自主防災会(町内会)班単位での訓練内容</p> <p>・支援者は災害弱者(要支援者)へ電話等で「声かけ行動」</p> <p>・町内住民(班単位)は電話で「班長へ、防災無線の内容を聞きとれたか報告」</p> <div style="text-align: center;"> <p>班員 → 班長 → 防災会長</p> </div> <p>●防災会長は、地区防災会長(鈴木)に、それぞれの項目ごとの世帯数を報告する。</p>

○城北地区防災講習会(役員)及び城北地区公民館防災避難訓練

○住民へ城北地区防災情報の提供 *「城北防災だより」の発行

令和3年

[▲印:防災備品選定関係

■印:事業

□印:情報提供]

□4月15日「城北防災だより③⑥」回覧 *防災部員の引き継ぎ

□5月10日「城北防災だより③⑦」回覧 *ワクチン接種支援

■5月13日・地区防災会第1回役員会：本年度の事業計画 等

■5月17日・地区防災対策協議会通常総会〔書面決議〕

＊令和2年度事業報告、収支決算

＊令和3年度事業計画、収支予算 等

□5月28日「城北防災だより③⑧」回覧 ＊分散避難・防災情報

□6月3日「城北防災だより③⑨」回覧 ＊防災リーダー受講者募集

■6月 3日 ・書面決議結果報告

□6月10日「城北防災だより④⑩」回覧 ＊防災リーダー受講者募集

■6月 17日 ・役員会及び防災研修

○防災（避難）訓練について

○防災支援補助金申請プロジェクトチームの編制について

○住民避難手順の確認

○感染症対策をとった避難所開設

▲6月28日 防災備品選定プロジェクト会議 プロジェクトリーダー打ち合わせ会

■7月 5日 自主防災会 会長会 ＊避難訓練について協議

■7月 7日 避難場所開設

7月7日

■6時57分：「大雨警報」発表を受け待機。

■6時59分：「顕著な大雨に関する鳥取県気象情報」（線状降水帯が発生）：待機。

■10時40分：出勤 ◎城北体育館（開錠）＊丸山地区

＊土砂災害の危険があるが、水没をまぬがれる城北地区の唯一の避難場所

■10時50分：城北小学校（体育館） 避難場所開設準備

・受付準備（長机・受付名簿・検温計・アルコール（城北小学校より借用））

・居住スペース区分け（シートで通路スペース確保、密への対策）

・密への対策：運動用マットを間隔をとって敷き、家族単位で居住

■11時20分：避難場所運営担当者到着（市職員6人）

■避難場所運営担当者（市職員6人）と共に、開設準備

・体調不良者スペース（卓球台で仕切って確保）

・掲示物 添付 ＊市が掲示物等、備品を持ち込む

■23時00分：避難場所運営担当者（市職員4人）にお願いし解散

7月8日

■7時00分：城北小学校（体育館） 避難者の状況確認

■城北小学校（体育館） 防災会役員2名 駐在

■14時00分：城北小学校（体育館）避難場所撤収

- 7月14日「城北防災だより④①」回覧 *避難場所開設活動〈報告〉
- 7月21日「城北防災だより④②」回覧 *鳥取市防災行政無線
- ▲7月 27日 第1回 防災備品選定プロジェクト会議
- 8月 2日「地区避難訓練 広報」全戸配布 *情報伝達訓練、要支援者避難
- 8月4日「城北防災だより④③」回覧 *一時集合場所集合訓練の変更
- 8月10日「城北防災だより④④」回覧 *非接接触型 情報伝達訓練
- 8月 22日(日) **情報伝達訓練・避難行動要支援者 声かけ行動訓練**
- 8月27日「城北防災だより④⑤」回覧 *鳥取市防災行政無線の確認状況
- 10月10日「城北防災だより④⑥」回覧 *防災訓練で分かったこと〈検証〉
- 10月15日「城北防災だより④⑦」回覧 *城北地区の防災行動
- 10月22日「城北防災だより④⑧」回覧 *青葉町の治水
- 12月17日「城北防災だより④⑨」回覧 *冬(豪雪)の防災対策
- 保・小・真如園との災害時連絡協議会
- ▲12月28日 防災備品選定プロジェクト *防災備品の確認作業

令和4年

- 3月17日「城北防災だより⑤①」回覧 *地震発生時の助け合い(宮城県地震を発生)
- 4月13日 令和3年度 会計監査

(鳥取市自主防災会連合会関係)

年月日	行事名	適用	備考
5月20日	鳥取市自主防災連合会総会 *書面決議	・2年度収支決算報告 ・3年度事業 ・役員確認	
6月29日	鳥取市自主防災会連絡協議会 地区会長会 鳥取市防災リーダー養成研修 7/25, 9/26, 10/3	城北地区:3名参加	
10月3日	鳥取市防災リーダー養成研修	城北地区の防災会運営 (発表)	
11月30日	防災リーダーフォローアップ研修	城北地区:2名参加	